

企画提案書作成要領

公立はこだて未来大学大学案内2028制作業務（以下「本業務」という）の公募型プロポーザルの企画提案書（以下「企画提案書」という）は、【資料1】プロポーザル実施要領（以下「実施要領」という）、【資料2】仕様書の内容を踏まえ、記載事項に従い作成すること。

企画提案書は、専門知識を有していなくても理解できるよう、可能な限り平易な表現で分かりやすく具体的に作成することとし、専門用語を使用する際には注釈をつけること。また、募集要項、仕様書や以下に示していない内容でも、公立はこだて未来大学（以下、「本学」という）にとって有益になると思われるものについては、積極的に提案すること。

1. 企画提案書の記載上の留意事項

- (1) 企画提案書は「2. 企画提案書の構成・記載内容・方法」に基づいた章立てとすること。
- (2) 様式は原則として A4 判・横書きとする。また、A3 判の挿入も可とする。
- (3) 文章を補完するために図表、写真、イラスト等の使用を可とする。
- (4) 提案内容は全て実現可能なものとし、根拠を含め、可能な限りその仕様などを具体的に記述すること。
- (5) 企画提案書は電子媒体による提出とする。正本・副本の各データを電子メールにより提出すること。提出先のメールアドレスについては募集要項を参照のこと。
- (6) 副本データは、第1次審査（書面審査）の資料となるため、企業名が特定できる項目は記載しないこと。（企業名・商号などは空欄で提出すること。）

2. 企画提案書の構成・記載内容・方法

- (1) 企画提案書のデータは、「A. 企画デザイン案」「B. 企画説明書」の2点を提出すること。
- (2) A. 企画デザイン案は、以下を作成し提出すること。

- ① 企画・構成案（ページ数、企画コンセプト・概要、記事概要）
- ② 新大学案内のキャッチフレーズ案（他の広報媒体でも活用する場合あり）
- ③ 表紙案
- ④ 学部・学科紹介案（2027大学案内：7－10ページ）

以下の情報を説明するため、図表・図解などを用いて作成すること。

- ・ システム情報科学が、生命・自然・数理・社会・認知・人工物など、多様なシステムを対象に、情報科学を基盤としてその仕組みを理解し、より良い姿を設計し、そして現実世界の中で実現していくことを探求する学問分野であること。
- ・ 2学科および5つのコースがあること。
- ・ 2年進級次にコース選択があることなど4年間の流れがわかること。
- ・ 学科やコースに捉われない横断的な学習活動があること。

【参考】<https://www.fun.ac.jp/department/>

<https://www.fun.ac.jp/department/media-architecture/>

<https://www.fun.ac.jp/department/complex-system-intelligence/>

- ⑤ コース紹介案（2027大学案内：17－26ページ）

「情報システムコース」「情報デザインコース」「複雑系コース」「知能システムコース」のうち一つを選択し、その特色を受験生やその関係者など当該領域の非専門家の人たちに理解してもらうにあたって効果的と思われるページの配置案を、「当該コースの人材育成の考え

方」「当該コースの授業およびカリキュラム」の情報を含めて写真や図表、図解などを用いて作成すること。

【参考】 <https://www.fun.ac.jp/department/media-architecture/information-systems/>
<https://www.fun.ac.jp/department/media-architecture/information-design/>
<https://www.fun.ac.jp/department/complex-system-intelligence/complex-systems/>
<https://www.fun.ac.jp/department/complex-system-intelligence/intelligent-systems/>

※ 上記のほか、各コースの人材育成の考え方はディプロマポリシーを参照のこと。

<https://www.fun.ac.jp/department/policy/diploma-policy/>

※ 各コースの授業およびカリキュラムのことは、カリキュラムポリシーおよびシラバスを参照のこと。

<https://www.fun.ac.jp/department/policy/curriculum-policy/>

<https://students.fun.ac.jp/lesson/SyllabusList>

⑥ 施設紹介ページ案（2027大学案内：45－47ページ）

本学のモットーである Open Space, Open Mind を体現した施設・学習環境であることを説明できるページ案を作成すること。

⑦ 研究紹介ページ案（2027大学案内：5－6ページ，39－42ページ）

以下の説明を行うことを念頭に置いた、見開き2ページ程度のページ案を作成すること。

- ・ システム情報科学という他に類を見ない学問領域のもと、情報システム、セキュリティ、人工知能、ロボティクス、認知科学、教育、IoT、XR、デザイン、生命科学、複雑系科学、宇宙、ゲーム理論など、教員の多様な専門性が融合し、まさに「未来大らしい」研究領域が生まれていること。
- ・ ページ案に掲載する研究事例は架空のものでも可とする。なお、事例の一部は下記 URL に掲載しているので参考にする。

【参考】 <https://www.fun.ac.jp/about/university-for-designing-society/>

<https://www.fun.ac.jp/seeds/>

※ 本学ウェブサイトに掲載している研究関連のニュースも適宜参照のこと。

※ その他、本学は参考資料として本学教員の研究事例をまとめた冊子「未来研究」を提供することができる。

⑧ その他、必要と思われるページ案（任意）

企画デザイン案は、現行大学案内の構成や体裁にとらわれず、改善点や新たな工夫などを積極的に取り入れたものが望ましい。また、ページ案の作成にあたっては、本学ウェブサイトの内容なども参考にする。

（3）B. 企画説明書については、【別表】提案項目の記載内容・方法 の章立てで構成し提出すること。（提案項目「4. 開発」に基づいて制作フロー予定表も提出すること。）

企画説明書の本文は、10ページ以内（表紙、裏表紙、目次等は除く。）にまとめ、各ページには一連のページ番号を記載すること。

【別表】企画説明書の提案項目

No.	提案項目	記載内容・方法
1. 組織・体制		
1-1.	制作業務を円滑に遂行可能な体制	① 各業務を遂行するために十分な人員が確保されていること、提示した工程に照らし合わせ、本業務を安定的に実現できる体制が整っていることについて、役割分担、専任人員の数を具体的かつ明確に記載すること。また、外注予定のある業務については、その業務内容を明記すること。 ② 担当人員について、パンフレット等制作の経験年数、知識を記載すること。
1-2.	総括責任者の本業務に対する経験および資質	総括責任者が本業務またはそれに類似する業務における十分な経験・実績を有し、安定的かつ確実に遂行する能力・資質があること。
2. 受注実績		
2-1.	十分な量・質の受注実績	① 本業務と類似した業務（例えば、大学および大学法人・学校法人、官公庁を含む各組織を契約相手とする業務）を受注した実績の詳細、かつ十分な量・質の企画・制作などの実績があれば記載すること。 ② 類似業務実績における諸問題の解決や質の高い改善提案など、十分な質の実績がある。
3. 企画およびページデザイン		
3-1.	企画構成の提案	① 本学大学案内の位置づけや趣旨を考慮し、【資料2】仕様書で提示しているコンセプトに基づいた企画構成になっていること。また、ストーリーや方向性、総合的デザインにおける工夫を含む提案を具体的に記載すること。
3-2.	デザインレイアウトの提案	① デザインの提案が、直感的で明確、わかりやすく、本学のブランドイメージとして望ましいものとなっていること。 ② 読み手の視線誘導やレイアウト、配色などに工夫を含む提案が見られること。
3-3.	編集・コピーの提案	① 想定される閲覧者（ステークホルダー）のそれぞれにとって、わかりやすく情報が整理された提案について、工夫を含めて具体的に記載すること。 ② 本学の学部学科や教育研究の特長および見本ページにおいて、ターゲットの心を掴むメッセージやキャッチコピーの工夫を含む提案を具体的に記載すること。
3-4.	コンテンツおよびクリエイティブ制作に関する提案	① ページ案において、本学の情報発信の趣旨に基づき、ターゲットユーザへの訴求力を持ったコンテンツについて、工夫を含む提案を具体的に記載すること。 ② ウェブサイトなど、他の広報媒体にも活用できる提案について、具体的に記載すること。

No.	提案項目	記載内容・方法
4. 開発		
4-1.	全体および各作業の制作フローの適正および実現性	① 「1. 組織・体制」で提案している人員配置や稼働人工に照らし合わせ、フローの実現性・妥当性について具体的に記載すること。 ② 取材や撮影, 具体的なコンテンツの精査, ページデザインなど, 並行して行われる複数業務の実働工程が, 明確かつ実現可能な工期であり, かつ当該工期が大学側の確認・構成期間が現実的に確保されたスケジュールであることを具体的に記載すること。 ③ 工期遅延などが生じた場合, 工期を取り戻すための施策を具体的に記載すること。
5. その他		
5-1.	企画制作および移行業務価格	① 見積書の経費積算額が妥当な金額であり, かつ【資料2】仕様書に定める金額の範囲内であること。 ② 見積の内訳（デザイン費, 撮影費, 取材ライティング費など）に明確さ, 透明性があること。